

(別紙1)

事業名	精神保健福祉活動支援事業
事業の実施状況	<p>研修会名：「鹿児島から学ぶ新しい精神障がい者の新しい働き方」 ～ピア活動を雇用～</p> <p>日時：平成28年3月25日（金）13:30～16:30</p> <p>場所：宮崎市清武文化会館</p> <p>参加者：76名</p> <p>参加者の内訳：当事者、家族、基幹相談支援センター等の支援者、行政機関等</p> <p>研修会の目的：精神保健福祉領域における宮崎のピアサポーターの活動について 関係機関への理解。就労につながったピアサポーターの実践者と</p> <p>宮崎のピアサポーターが交流研修を行い、宮崎県内の関係機関と ピアスタッフに就労を通じたピア活動の成果やその可能性を知つ てもらい、地域移行・地域定着支援にピア活動を活用できる環境 を作ること。</p> <p>雇用されているピアサポーターの現状を話して頂いた鹿児島の話題提供者（6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県保健福祉部 障害福祉課 精神保健福祉係精神保健福祉係長・・1名</li> <li>・公益社団法人いちょうの樹 メンタルホスピタル鹿児島・・2名</li> <li>・鹿児島市精神保健福祉交流センター・・1名</li> <li>・公益社団法人慈愛会 地域活動支援センターひだまり・・2名</li> </ul> <p>事業を実施したピアサポーターの人数（13名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修進行役・司会役・・・3名</li> <li>・グループワークの進行役・・・6名</li> <li>・研修当日の準備および研修受付等に携わったピアサポーターの数・・4名</li> </ul>
事業の成果	研修終了後のアンケート結果においてピアサポーターがいるとよいと感じた、ピアスタッフについて深く学ばせてもらった、雇用に向けて当事者・行政・雇用者側の連携を強化してほしいという意見が寄せられていた。ピアサポーターに対する理解、ピアサポーターが雇用されて働くことのメリットや可能性などが理解された。当事者・行政・支援者側で一体となってピアサポーターの雇用に関して意見を出し合ったことで、ピアサポーターの新しい働き方として、雇用による働き方を考えるための環境づくりを行うことができた。